

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	地球温暖化に対応したダム等有効活用検討（渇水リスクの軽減）経費		担当部局	水管理・国土保全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H22/H23		担当課室	河川環境課 流水管理室		室長 溝口 宏樹		
会計区分	一般会計		施策名	6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について(答申)(平成20年6月 社会資本整備審議会)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本検討は、地球温暖化に伴い、融雪時期の早まりや降雪・降雨量の減少、代かき期の早まりなど、ダム等への水の流入・流出に係る状況の変化が予想されていることから、今後、治水等の本来の機能を損なわずに、中長期的に水利用への深刻な影響を回避していくために必要となる、最適なダム等利水施設の運用方法を確立することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	気候変動が河川の流況へ与える影響について検討するため、気候変動予測データを整理し、将来の降水量・融雪量など気候の変化傾向を分析する。さらに、上流にダムを有するいくつかの水系を対象として、現在と比べた場合の将来の河川流況の変化について整理・分析を行うとともに、今後渇水リスクが予想される水系において、最適なダム等利水施設の運用方法を検討する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	7	6	-	
	執行額	-	-	7	-	-		
	執行率(%)	-	-	96.7%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	渇水影響度			日・%	12,079	7,259	(調査中)	5,300
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	最適なダム等利水施設の運用方法の確立			%	-	-	0.55	-
				%	-	-	(55%)	(100%)
単位当たりコスト	13(百万円/1調査検討)		算出根拠	実績額を1業務で除している				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>内容、進め方について、本省が十分把握した上で、予算が目的に沿って効果的に使われていることを確認している。また、国土技術政策総合研究所に対し、執行状況に関する調査を行い、契約件名、支出先、金額等を把握している。今後も、調査手法等の改善を通じ、効果的・効率的な事業遂行に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止 ⑧		<p>気候変動による渇水リスクが将来的に予想される水系における、ダム等利水施設の最適な運用方法の検討が進み、本事業の内容は概ね終了、一定の成果が見込まれることから、廃止する。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国土交通省
7百万円

地球温暖化に対応した
ダム等有効活用に係る
情報収集、企画・立案等

【示達】

A.国土技術政策総合研究所
7百万円

・解析対象流域の検討
・渇水に大きな影響を与える気候因
子や解析方法の検討
・将来の渇水リスクの検討

【プロポーザル方式】

B.株式会社 日水コン
7百万円

・気候モデルの基礎データ整理
・気候変動予測モデルデータを用いた全国の渇水特性の整理
・流域最上流ダムでの将来の流
況変化の整理

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. 国土技術政策総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	地球温暖化に対応したダム等有効活用検討(温水リスクの軽減)経費	7			
計		7	計		0
B. 株式会社 日水コン			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	気候変動が長期流出へ与える影響に関する調査業務	7			
計		7	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土技術政策総合研究所	解析対象流域の検討等	7	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 日水コン	気候モデルの基礎データ整理等	7	3	98%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					